

2013年4月

●伊達市霊山町小国地区住民と地域再生について話し合い(4月27日(土))

REPA のこれまでの地道な活動を受けて、地元の住民組織である『下小国地区会』(佐藤好孝会長)は、当協会に対しメタン発酵の仕組み等の説明及び、今後の地域再生に向けた情報提供を依頼、4月27日、下小国中央集会所において、説明会を開催していただきました。下小国地区会はこれまで、除染や賠償金、住民避難等の問題について話し合ってきましたが、福島第一原発事故から2年が経過し、今後の地域再生に取り組んでいくと意向が強まり、地域再生のテコとしてメタン発酵技術を活用できないかということで、説明会の開催を依頼していただいたということです。この説明会には、下小国だけでなく上小国の住民の方々を中心に約40名が参加し、また、REPA から8名、従来より側面支援していただいている首都大学東京から吉業正行教授と吉田博久教授が参加されました。

説明会では、野池達也・東北大学名誉教授が『震災・原発被災地の復興に貢献するメタン発酵』、佐藤茂夫・REPA 代表理事が『霊山で進めているバイオガス製造装置の仕組みと狙い』、篠田淳司・REPA 理事事務局長が『20年後を見据えたバイオマス利用と地域再生～メタン発酵を軸にした小国地区再生の可能性～』と題して講演、これらの講演内容についての質疑が行われました。また、後段の質疑応答においては、講師3名だけでなく、福島県で除染事業に事故当初から携わってこられた首都大学東京の吉田博久教授から回答させていただきました。地元住民の方々からは、「地域再生により早く気持ちに向いてきたが、どうしていいかわからない状態だった。まだバイオガスについては農業という仕事柄知っていたが、いろいろなことができそうだということがあった」「メタン発酵装置は各家庭でも簡単にできるような技術なのか」「メタン発酵を地域再生に活用していくにはどれくらいの費用がかかるのか」「道の駅などの中心にメタン発酵を据えた福岡県大木町のような取り組みはとても魅力的だが、霊山での可能性についてどう思うか。できるまでにどれくらい時間がかかるのか」「セシウムの濃縮管理が可能ということだが、具体的にどのようにすれば安心できるのか」などの意見や質問がだされました。

伊達市小国地区ではこれまで、各年齢層や多岐にわたる職業の方々に参加して将来に向けた地域再生について話し合う場を持つことはなかったということです。今回の説明会を皮切りに、地区会では地元住民によるこうした議論を進めていき、行政等に働きかけていきたいと考えており、当協会としても、冒頭の2つの事業と並行して地域再生に向けた情報発信や助言等をしていきたいと考えています。



野池達也・東北大学名誉教授が『震災・原発被災地の復興に貢献するメタン発酵』を講演



佐藤茂夫・REPA 代表理事が『山で進めているバイオガス製造装置の仕組みと狙い』を講演



篠田淳司・事務局長が『20年後を見据えたバイオマス利用と地域再生～メタン発酵を軸にした小国地区再生の可能性～』を講演



40 数名以上の方々が熱心に聴講、活発な質疑応答がなされた



首都大学東京の吉田博久教授からの放射能に関する判りやすい回答



『下小国地区会』佐藤好孝会長の纏めの挨拶。左は世話役の大沼豊氏

●水田除染活動(2013年4月25日～4月27日)

いよいよ、今年の試験作付前の水田のあぜ作り、代かき、竹炭の散布作業を行いました。

初日は晴天でしたが冷たい風が終日吹き荒れました。二日目は一転して雷と雨で時々激しく降りました。三日目は晴れたり曇ったりでしたが、冷たい風に終日吹かれました。従って大幅な予定変更を強いられました。本当に農業は自然との闘いです。

試験水田は伊達市の指導に基づいた条件作りを行いました。写真1

初日は試験水田を畔シートで10区画に分け、いろいろと試験条件を変更して試験作付を出来るようにしました。写真2

二日目は新沼のため池水をゼオライト水槽を通して、代かき水を導水する配管工事と試験水田AとBへの通水を行いました写真3、4。

試験水田Aには竹炭を散布して代かきをしました。試験水田Bには竹炭を散布しないで代かきをしました。写真5、6

三日目は代かき後の状況確認と、井戸水を代かき水として使用する試験水田への配管準備作業を行い、今後の全体作業予定の確認をしました。

次回5月21、22日はいよいよ田植えです。今年の成果を期待しましょう。



写真1 伊達市の水田除染済証明書



写真2 畝シートで区画した試験水田(10区画)



写真3 代かき水配管工事 手前がセオライト水槽



写真4 試験水田 A への代かき水の通水



写真5 大波プロの代かき作業(試験水田 A)



写真6 代かきが終わった試験水田 B

4月26日(金)～4月27日(土)に、復興支援メディア隊(神奈川県鎌倉市)が取材クルーを派遣し、霊山プロジェクトを取材しました。BS12チャンネルで紹介される予定です

●REPA 運営委員会 (2013年04月10日)

REPA 本部事務所 16:00～18:00

●REPA 情報交換会 (2013年04月10日)

4月情報交換会を4月10日(水)18時30分～20時30分で麴町「千代田区一番町集会室」に開催。情報提供は林原会員の「太陽光発電の現在と見通し」でした。